

講義情報

講義情報番号	
--------	--

講義表題情報

* 開講学年1	3・4
* 入学年度1	13～
* 対象学科1	法学
* 科目名1	法思想史B

担当教員情報

* 担当教員	岡寄 修
--------	------

講義詳細情報

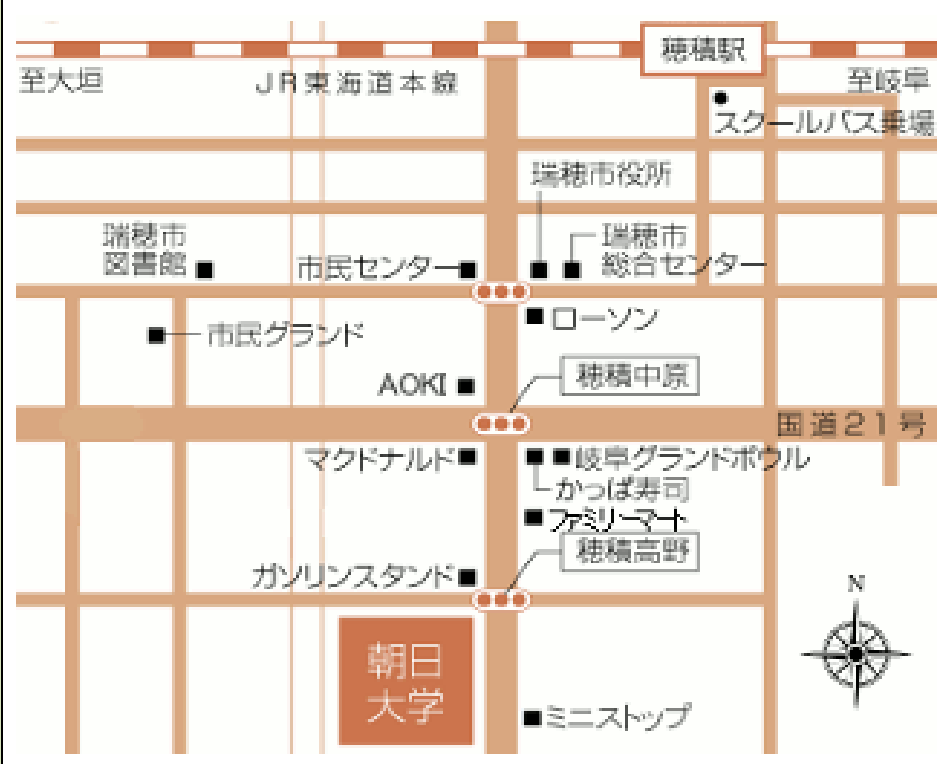
* 講義目的・講義内容	<p>本講義では、近代科学と法律学(法解釈学)との関係を見てゆきます。現代は科学の時代と言われるように、学問といえば科学が主流です。法思想史Aでは、法律、政治、経済を中心に近代化を扱いましたので、Bでは、近代的知識として科学を取り上げます。</p> <p>「法律学は科学なのか」と問われても、うまく答えられません。それは、法律学のやり方と、科学のやり方を比べ、両者の異同を比較できないからです。</p> <p>そこで、この講座では「科学とは何か」を取り上げます。科学を考えるのに、数学の知識は必ずしも必要ではありません。それは、科学的知識の何たるかは、数学以前の問題だからです。</p> <p>では、科学とは何なのか。それは一つの分かり方です。「分かった」と思えるには、そう思えるためのカラクリがあります。近代科学の分かり方は、それ以前の時代の分かり方とは全く違い、その歴史は300年ほどしかありません。</p> <p>法思想史Bでは、科学の分かり方の仕組みをひも解きながら、それが法律学の分かり方とどう違うのかを考えてゆきます。「法律学は科学なのか？」と疑問を持っている人は、ぜひ受講して下さい。</p>
* 到達目標	<p>法の解釈は、一見するとことばの意味を巡る争いのような外観を呈するが、時代背景や考え方も視野に入れば、それが決してことばの争いではないことが分かる。</p> <p>法を解釈する場合でも、本当の争点は何なのか分かり、ことばの遊びに踊らされることが防げる。</p>
* 授業計画	<p>1. 法理論は科学理論と同じか？ 事前学修: 科学という言葉でイメージするものを考える。2時間 事後学修: 法理論は科学理論と違うらしきことを理解する。2時間</p> <p>2. 分かるためのカラクリ 事前学修: 分かる、分からないとはどういうことか考える。2時間 事後学修: 分かることには仕組みがあることを理解する。2時間</p> <p>3. 科学における「分かった」 事前学修: 科学で分かるための仕組みが、法律学とどう違うか考えてみる。2時間 事後学修: 科学が世界をメカニズムと想定し、法則的知識を探求することを理解する。2時間</p> <p>4. 所有権は本当に移転するのか 事前学修: 法律学で理論の真偽を見極めるのに実験や検証を用いない理由を考える。2時間 事後学修: 法律学では、概念の実体化を理解の補助手段としていることを理解する。2時間</p> <p>5. 法の解釈と三段論法 事前学修: 日常生活で、いつ三段論法を使うかを考えてみる。2時間 事後学修: 三段論法が、思考の法則ではないことを理解する。2時間</p> <p>6. 法の科学(1): 法学と心理学 事前学修: 法廷での証人尋問で、論理と心理のいずれの方が重要かを考える。2時間 事後学修: 法律学における論理の働きが、判決の正しさに直結しないことを理解する。2時間</p> <p>7. 法の科学(2): エールリッヒの法社会学 事前学修: 行為規範と裁判規範の違いを調べる。2時間 事後学修: エールリッヒが近代科学の考え方で法律学を捉え直そうとしたことを理解する。2時間</p>

	<p>8. ホームズのプラグマティズム法学 事前学修:オリバー・ウェンデル・ホームズ・Jrとは誰かを調べる。2時間 事後学修:ホームズの法予見説には、進化思想の影響があることを理解する。2時間</p> <p>9. ロスコーク・パウンドの社会学的法学 事前学修:パウンドについて調べる。2時間 事後学修:パウンドにはホームズやエールリッチが影響していることを理解する。2時間</p> <p>10. ジョン・デューイの法解釈論 事前学修:ジョン・デューイを通じ「プラグマティズム」について調べる。2時間 事後学修:日常生活で三段論法から考え始める者などいないことを理解する。2時間</p> <p>11. リアリズム法学 事前学修:リアリズム法学とは何かを調べる。2時間 事後学修:リアリズム法学の中に、ルールへの懐疑と事実への懐疑の二種類あることを理解する。2時間</p> <p>12. 法的事実とは何か 事前学修:「裁判は真実発見の場だ」と言えるかを考える。2時間 事後学修:法廷で事実問題がどのように扱われるかを理解する。2時間</p> <p>13. ジェローム・フランクの事実認定論 事前学修:ジェローム・フランクについて調べる。2時間 事後学修:法廷での事実は裁判官の認定に左右されることを理解する。2時間</p> <p>14. コーヒーによる火傷で3億円！？ 事前学修:このアメリカの事例について情報を集める。2時間 事後学修:社会を動かすには、立法以外のやり方もあることを理解する。2時間</p> <p>15. 法の解釈とリーガル・マインド 事前学修:法の運用に関しとりわけ「マインド」が問題になる理由を考える。2時間 事後学修:法の運用や解釈は、あくまで人の価値観を排除できないことを理解する。2時間</p>
* 履修の条件・注意事項	法解釈のほかに、分かること、あるいは知識とは何かに関心を持って受講すること。
* 成績評価基準・方法	<p>講義のたびにレポートを出してもらいます。これに定期試験の成績を加えて成績評価を行います。受講者の理解の度合いは、質問を聞いても分かりますから、良い質問をした受講者には、それを加点対象として扱います。</p> <p>また、講義への出欠のチェックはかなり厳しく行われます。私が合格点をつけようと思っても、出席日数の不足で不合格になることもあります。出欠の扱いに関しては、各自で十分注意してください。</p>
* テキスト	教科書は使わず、資料の引用を含む自前のテキストを配付します。
参考書	<p>ジェイコブ・ブロノフスキー『科学とは何か』(みすず科学ライブラリー) 川島武宜『科学としての法律学』(1964, 弘文堂)[川島武宜著作集にもある] ジェローム・フランク/棚瀬訳『法と現代精神』(1974, 弘文堂) その他はプリントを通じて指示します。</p>

(この様式はシラバスとセットにしてホームページに掲載します)

朝日大学「法思想史B」の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します

科目名	法思想史B
時間割	毎週月曜日 2時限目 10時45分開始 12時15分終了
初回の授業日	2018年9月24日(月)
講義室	朝日大学穂積キャンパス 6号館 6813講義室
注意事項	<ul style="list-style-type: none">・12月26日から翌年1月5日までは、冬季休業期間です。・12月24日は、授業実施日です。・自動車による通学は禁止です。(どうしても必要な場合は、民間駐車場を借りてください。)
授業についての問合せ	受講に関するお問合せは、朝日大学学事二課 TEL 058-329-1079 まで

地図	
交通アクセス	JR穂積駅から大学スクールバス(無料)で約5分